

R3.4.1.改定 介護サービス計画書（1）について

1. 「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」に「課題分析の結果（可能性・必要性）」を記載した例
2. 「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」に「別紙課題検討用紙を参照」とした例

改定された居宅サービス計画書標準様式及び記載要領

⑬「利用者及び家族の生活に対する 意向を踏まえた課題分析の結果」

[理由] 利用者とその介護を行う家族は不即不離の関係にある。介護や支援を受けつつ、利用者や家族が、家庭や地域社会の構成員として自立した主体的・能動的な生活を送ることが重要である。このため、利用者はもとよりその家族が、介護や支援を受けつつ、どのような生活をしたと望んでいるのかについて、明確に把握する必要がある。このような主体的な生活への欲求と対応するサービスが一体となり初めて効果的な援助が可能となる。また、時として、このような意向が消極的な場合があるが、そのような場合には自立意欲を高め、積極的な意向が表明できるよう援助する必要がある。[記載要領] 利用者及びその家族が、どのような内容の介護サービスをどの程度の頻度で利用しながら、どのような生活をしたと考えているのか **意向を踏まえた課題分析の結果を記載する**。その際、**課題分析の結果として、「自立支援」に資するために解決しなければならない課題が把握できているか確認する。そのために、利用者の主訴や相談内容等を踏まえた利用者が持っている力や生活環境等の評価を含め利用者が抱える問題点を明らかにしていくこと**。なお、利用者及びその家族の生活に対する意向が異なる場合には、各々の主訴を区別して記載する。

意向を踏まえた課題分析の結果 = 課題検討用紙の「生活上の問題点」➤「問題の原因」➤「本人家族の意向」➤「改善・維持・低下の可能性、ケアの必要性」➤「生活全般の解決すべき課題」➤「ケアの方向性」です。

ケアプラン2表の「生活全般の解決すべき課題（ニーズ）」が、「自立支援（残存能力の活用支援、自己決定支援、要介護でも普通の生活支援）」ではなく

- ①どのような課題分析の過程を経て「課題（ニーズ）」とされたのかの過程がわからない。
- ②希望だけでケアプランを作っている。
- ③サービスを使うことが前提のケアプランになっている。

と思われたことが、今回の不可解な「記載要領」の変更になったと推測されます。

2021.07.21. 小湊純一。

居宅サービス計画書（1）

初回 ・ 紹介 ・ 継続

認定済 ・ 申請中

利用者名 宮 城 花 子 殿 生年月日 昭和 15年 2月20日 住所 宮城県宮城郡宮城町中央1-1

居宅サービス計画作成者氏名 仙 台 太 郎

居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地 仙台居宅介護支援センター 宮城県宮城郡宮城町西2丁目2-2

居宅サービス計画作成（変更）日 令和 3年 4月 1日 初回居宅サービス計画作成日 令和 3年 4月 1日

認定日 令和 3年3月1日 認定の有効期間 令和 3年 3月 1日 ~令和 4年 2月28日

要介護状態区分	要支援 ・ 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5
利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果	<p>(本人) ・ 少しでも歩けるようになりたい。 ・ 元気でいたい。 ・ 痒みがとれるといい。 ・ お風呂に入りたい。 ・ 誰かと話がしたい。</p> <p>(家族) ・ 自分でできるところは自分でやってほしい。元気でいてほしい。(松男さん) ・ 歩く練習をお願いしたい。 ・ 車の乗り降りの介助をしてほしい。(松男さん) ・ お風呂に入れてほしい。(松男さん、竹子さん) ・ 痒みがとれてほしい。(竹子さん)</p> <p>(課題分析の結果) ・ 主治医より、痛みなど身体症状の増強に注意するように指示がでている。 ・ 骨折後の身体の状態や病気に問題なく、一時は10m位歩けるまで回復していたこと、本人も家族も意欲があることから、歩行能力が改善する可能性がある。 ・ 入浴、車の乗り降り、移動については、当面補う介助が必要である。 ・ ポータブルトイレの乗り降りの際に転倒防止の必要がある。 ・ 交流や会話をするにより、気分が改善し楽しく過ごせる可能性がある。 ・ 身体の痒みについては、保清・保湿により様子を見るように言われている。 ・ 家族による介護を増やすことができないため補う介助が必要である。</p>
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	なし
総合的な援助の方針	<p>・ 症状の変化に気をつけ必要に応じて主治医に報告します。 ・ 身体を動かす機会を持ち歩行状態が回復できるように支援します。 ・ お風呂に入れるように支援します。 ・ 介助により車の乗り降りができるように支援します。 ・ 福祉用具を活用し転倒なく乗り降りができるように支援します。 ・ 介助や福祉用具活用により移動できるように支援します。 ・ 人と関わる機会を持てるように支援します。</p> <p>・ 保清と保湿により痒みが軽減できるように支援します。</p> <p>【緊急連絡先】 自宅 000-0000 竹子さん勤務先 111-1111 体の具合が悪くなった時 草刈内科医院 022-271-9251</p>
家事援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他 ()

居宅サービス計画書（1）

初回 ・ 紹介 ・ 継続

認定済 ・ 申請中

利用者名 宮 城 花 子 殿 生年月日 昭和 15年 2月20日 住所 宮城県宮城郡宮城町中央1-1
 居宅サービス計画作成者氏名 仙 台 太 郎
 居宅介護支援事業者・事業所名及び所在地 仙台居宅介護支援センター 宮城県宮城郡宮城町西2丁目2-2
 居宅サービス計画作成（変更）日 令和 3年 4月 1日 初回居宅サービス計画作成日 令和 3年 4月 1日
 認定日 令和 3年3月1日 認定の有効期間 令和 3年 3月 1日 ~令和 4年 2月28日

要介護状態区分	要支援 ・ 要介護1 ・ 要介護2 ・ 要介護3 ・ 要介護4 ・ 要介護5
利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果	<p>(本人) ・ 少しでも歩けるようになりたい。 ・ 元気でいたい。 ・ 痒みがとれるといい。 ・ お風呂に入りたい。 ・ 誰かと話がしたい。</p> <p>(家族) ・ 自分でできるところは自分でやってほしい。元気でいてほしい。(松男さん) ・ 歩く練習をお願いしたい。 ・ 車の乗り降りの介助をしてほしい。(松男さん) ・ お風呂に入れてほしい。(松男さん、竹子さん) ・ 痒みがとれてほしい。(竹子さん)</p> <p>(課題分析の結果)</p> <p>・ 別紙「課題検討用紙」参照</p>
介護認定審査会の意見及びサービスの種類の指定	なし
総合的な援助の方針	<p>・ 症状の変化に気をつけ必要に応じて主治医に報告します。 ・ 身体を動かす機会を持ち歩行状態が回復できるように支援します。 ・ お風呂に入れるように支援します。 ・ 介助により車の乗り降りができるように支援します。 ・ 福祉用具を活用し転倒なく乗り移りができるように支援します。 ・ 介助や福祉用具活用により移動できるように支援します。 ・ 人と関わる機会を持てるように支援します。</p> <p>・ 保清と保湿により痒みが軽減できるように支援します。</p> <p>【緊急連絡先】 自宅 000-0000 竹子さん勤務先 111-1111 体の具合が悪くなった時 草刈内科医院 022-271-9251</p>
家事援助中心型の算定理由	1. 一人暮らし 2. 家族等が障害、疾病等 3. その他 ()

利用者名： 宮城 花子 様

ケアプラン策定のための課題検討用紙

アセスメント基準日： 令和 3年 4月 1日

項目	細目	チェック	検討が必要な具体的状況	原因	本人、家族の意向	自立に向けた、改善（回復）の可能性、維持の必要性、低下・悪化の危険性、ケアの必要性	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	ケアの方向性
1. 健康状態	① 既往歴	×	<ul style="list-style-type: none"> ・狭心症。 ・骨粗鬆症 ・第一腰椎圧迫骨折（R2, 12, 20 転倒） ・老人性皮膚掻痒症 ・時々胸の表面が刺されるような痛みがあるが、締め付けられるような感じはない。「ニトロダームを貼ると楽になる」と言っている。息切れはない。身体の痒みを訴えるが、特に掻き傷はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒のため ・狭心症 	(本人) ・元気でいたい。 (家族) ・元気でいてほしい（息子さん）。	・主治医より、痛みなど身体症状の増強に注意するように指示がでている。 * 身体の痒みについては「褥瘡・皮膚の問題」で検討する。	・痛みなど身体症状の観察が必要です。	・症状の変化に気をつけ、必要に応じて主治医に報告します。
	② 主傷病	○						
	③ 症状	○						
	④ 痛み	○						
	⑤ その他	○						
2. ADL	① 寝返り	×	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの縁につかまって自力で乗り移りしているが、約3ヶ月前に乗り移りの際、うまく立ち上がれず転倒して骨折している。 ・両手を支えてもらえば2～3歩は歩けることができるが、腰と下肢に力が入らなくなりしゃがみ込んでしまう。退院後は、屋外にはでていない。 ・常時ポータブルトイレを使用し自力で行っているが、ベッドの縁につかまってやっと行っている。 ・身体を抱えたり、支える介助が必要なため退院後は入浴していない。お嫁さんより身体を拭いてもらっている。 ・退院してからは外出していない。行動範囲はベッド周辺のみ。移動するのは排泄時位でほとんど身体を動かすことがない。 ・R2, 12, 20 にポータブルトイレに移る際に転倒して第一腰椎圧迫骨折して入院した。自力で乗り移りしているが、足腰に力が入らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒による骨折の後遺症 ・退院後ほとんど身体を動かすことがなく、廃用性が考えられる 	(本人) ・少しでも歩けるようになりたい。 ・お風呂に入りたい。 (家族) ・歩く練習をしてほしい。 ・できることはやってほしい。 ・お風呂に入れてほしい。 ・車の乗り降りを手伝ってほしい（息子さん）。	・骨折後の身体の状態や病気に問題なく、一時は10m位歩けるまで回復していたこと、本人も家族も意欲があることから、歩行能力が改善する可能性がある。 ・入浴、車の乗り移り、移動については、当面補う介助が必要である。 ・ポータブルトイレの乗り移りの際に転倒防止の必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも歩けるようになりたい。 ・お風呂に入りたい。 ・車の乗り降りを手伝ってほしい。 ・転倒防止が必要で ・移動介助が必要で 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かす機会を持ち、歩行状態が回復できるように支援します。 ・お風呂に入れるように支援します。 ・介助により車の乗り降りができるように支援します。 ・福祉用具を活用し転倒なく乗り移りできるように支援します。 ・介助や福祉用具の活用により移動できるように支援します。
	② 起き上がり	×						
	③ 移乗	○						
	④ 歩行	○						
	⑤ 着衣	○						
	⑥ 入浴	○						
	⑦ 排泄	○						
	⑧ その他	○						
3. IADL	① 調理	○	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が困難な状態であり、本人が行うことはできない。家族が全て行っている。 ・選んだり、支払ったりすることは問題ないが買い物に行くことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒による骨折の後遺症 	(本人) ・特になし。 (家族) ・特になし。	・家族がいて、家族によりできているためプランにしない。		
	② 掃除	○						
	③ 買物	○						
	④ 金銭管理	×						
	⑤ 服薬状況	×						
	⑥ その他	○						
4. 認知	① 日常の意思決定を行うための認知能力の程度	×	・支障なし					
5. コミュニケーション能力	① 意思の伝達	×	・支障なし					
	② 視力	×						
	③ 聴力	×						
	④ その他	×						
6. 社会との関わり	① 社会的活動への参加意欲	×	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも自室で過ごしているため、一人であることがほとんどである。 ・1年前までは近所の茶のみ友達との会話が唯一の楽しみだったが、今は一人であることが多く、寂しいと言っていて精神的に落ち込みがちである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・転倒による骨折の後遺症により一人で外出ができなくなった 	(本人) ・誰かと話がしたい。 (家族) ・楽しく過ごしてほしい（息子さん）。	・交流や会話をすることにより、気分が改善し楽しく過ごせる可能性がある	<ul style="list-style-type: none"> ・誰かと話がしたい。 ・人と関わる機会を持てるように支援します。 	
	② 社会との関わりの変化	×						
	③ 喪失感や孤独感	○						
	④ その他	×						

項目	細目	チェック	検討が必要な具体的状況	原因	本人、家族の意向	自立に向けた、改善（回復）の可能性、維持の必要性、低下・悪化の危険性、ケアの必要性	生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	ケアの方向性
7. 排尿・排便	① 失禁の状況	×	・問題なし。					
	② 排尿排泄後の後始末	×						
	③ コントロール方法	×						
	④ 頻度	×						
	⑤ その他	×						
8. 褥瘡・皮膚の問題	① 褥瘡の程度	×	・身体の痒みを訴えるが、特に掻き傷はない。	・老人性皮膚掻痒症	(本人) ・痒みがとれれば良いと思う。 (家族) ・痒みがとれてほしい。(お嫁さん)。	・身体の痒みについては、保清・保湿により様子を見るように言われている。	・痒みがとれてほしい。	・保清と保湿により、痒みが軽減できるように支援します。
	② 皮膚の清潔状況	×						
	③ その他	○						
9. 口腔衛生	① 歯の状態	×	・問題なし					
	② 口腔内の状態	×						
	③ 口腔衛生	×						
10. 食事摂取	① 栄養	×	・問題なし。					
	② 食事回数	×						
	③ 水分量	×						
	④ その他	×						
11. 問題行動 (行動障害)	① 暴言暴行	×	・なし					
	② 徘徊	×						
	③ 介護の抵抗	×						
	④ 収集癖	×						
	⑤ 火の不始末	×						
	⑥ 不潔行為	×						
	⑦ 異食行動	×						
	⑧ その他	×						
12. 介護力	① 介護者の有無	×	・お嫁さんは、家にいる時はできるだけ身の回りの世話はしてあげたいと思っているが体調に不安を感じている。 ・息子さんは、本人が今くらいの状態であれば自宅で世話をしてあげたいと思っているが、脳出血の後遺症があり身体を支えるような介護はできない。 ・お風呂に入れられない。 ・車の乗り降りの介助ができない。	・お嫁さんは仕事を持っているのと自分の体調に不安がある ・息子さんに軽い障害がある	(本人) ・あまり家族に迷惑をかけたくない。 (家族) ・お風呂に入れてほしい(息子さん、お嫁さん)。 車の乗り降りを手伝ってほしい(息子さん)。	・家族による介護を増やすことができないため補う介助が必要である（*「ADL」の項目で検討する）。		
	② 介護者の介護意思	○						
	③ 介護負担	○						
	④ 主な介護者に関する情報	○						
	⑤ その他	×						
13. 居住環境	① 住宅改修の必要性	○	・自宅内は段差があり、手すりもない。		(本人) ・特になし。 (家族) ・特になし。	・住宅改修は、入浴の状況や歩行の改善の状態をみた上で検討していく。 ・当面は福祉用具で対応しADLで合わせて検討する。		
	② 危険個所等	×						
14. 特別な状況	① 虐待	×	・なし					
	② ターミナルケア	×						
	③ その他	×						